



異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

- 異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理 (1 ページ)
- シナリオ—HXDP 3.0 でサイト A および HXDP 2.6 でサイト B (1 ページ)
- シナリオ: HXDP 2.6 のサイト A および HXDP 3.0 のサイト B (3 ページ)
- 機能の制限 (5 ページ)

異なる HXDP バージョンで動作するクラスタの管理

シナリオ—HXDP 3.0 でサイト A および HXDP 2.6 でサイト B

次の用語および略称が使用されます。

- サイト A —ソース クラスタ
- サイト B —ターゲット クラスタ
- `dr_cleanup` ツール —Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み] または [中止] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止] 状態の場合、VM またはグループをリカバリおよび保護を解除します。
- VM が [回復済み] 状態の場合、VM またはグループの保護を解除します。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	HXDP バージョン 2.6 または以降。	HXDP バージョン 2.6 または以降。	—
2.	HXDP 3.0 へアップグ レードします。	—	<ul style="list-style-type: none"> • 進行中のレプリケーションが続行されます。 • VM の計画済みの移行がサポートされていません。 • 詳細については、機能の制限 (5 ページ) を参照してください。
3.	サイト B をアップグ レードする前に、サイ ト A で障害が発生した 場合。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを実行し ます。 <i>#stcli dp peer forget</i> 2. 必要な VM を回復 します。 3. dr_cleanup ツール を実行して、ディ ザスタリカバリ データベースから すべての VM 情報 を削除します。 	ワークロードは現在サ イト B で実行されてい ます。
4.	<p>サイト A を復元しま す。</p> <p>サイト A を復元したら 以下を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを実行し ます。 <i>#stcli dp peer forget</i> 2. Dr_cleanup ツー ルを実行して、 ディザスタリカバ リデータベースか らすべての VM 情 報を削除します。 	—	サイトがペアリングさ れていません。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
5.	—	HXDP 3.0 へアップグレードします。	—
6.	サイトをペアリングします。	—	サイト A とサイト B が再度ペアリング可能になり、ワークロードを保護することができます。

シナリオ: HXDP 2.6 のサイト A および HXDP 3.0 のサイト B

次の用語および略称が使用されます。

- **サイト A** —ソース クラスタ
- **サイト B** —ターゲット クラスタ
- **dr_cleanup ツール** —Cisco TAC に連絡し、3.0 内部サポート パッケージで利用可能なこのツールを入手します。

前提条件

- アップグレードの前に、[回復済み] または [中止] 状態の VM またはグループがないことを確認します。
- VM が [中止] 状態の場合、VM またはグループをリカバリおよび保護を解除します。
- VM が [回復済み] 状態の場合、VM またはグループの保護を解除します。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
1.	HXDP バージョン 2.6 または以降。	HXDP バージョン 2.6 または以降。	—

ステップ	サイト A	サイト B	結果
2.	—	HXDP 3.0 へアップグレードします。	<ul style="list-style-type: none"> • 進行中のレプリケーションが継続されます。 • VM の計画済みの移行がサポートされていません。 • 詳細については、機能の制限 (5 ページ) を参照してください。
3.	サイト A をアップグレードする前に、サイト A で障害が発生した場合。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを実行します。 <i>#stcli dp peer forget</i> 2. 必要な VM を回復します。 3. dr_cleanup ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。 	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのリカバリオプションを使用できるわけではありません。 • 詳細については、機能の制限 (5 ページ) を参照してください。 • ワークロードは現在サイト B で実行されています。
4.	<p>サイト A を復元します。</p> <p>サイト A を復元したら以下を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを実行します。 <i>#stcli dp peer forget</i> 2. Dr_cleanup ツールを実行して、ディザスタリカバリデータベースからすべての VM 情報を削除します。 	—	サイトがペアリングされていません。

ステップ	サイト A	サイト B	結果
5.	サイト A を HXDP 3.0 にアップグレードします。	—	—
6.	—	サイトをペアリングします。	サイト A とサイト B が再度ペアリング可能になり、ワークロードを保護することができます。

機能の制限

リリース 3.0 の新しい機能は、ソースクラスタとターゲットクラスタの両方が同じ HXDP バージョンにある場合にのみサポートされます。ソースとターゲットの両方が同じバージョンであるため、アップグレードの際に時間がかかることがあります。次の機能の制限事項を確認してください。

- ターゲットクラスタが 2.6、ソースクラスタが 3.0 のピアサイトのバージョンが一致していない場合、VM の計画された移行はサポートされません。
- ソースがアップグレードされると、リリース 3.0 の新しい機能 (グループ VM の `movein` や `moveout` など) は、ピアがアップグレードされるまでソースクラスタ上でブロックされません。
- ターゲットクラスタのみがアップグレードされている場合、**HX Connect UI** では、[リカバリ (Recovery)] ダイアログボックスの [ネットワーク マッピング (Network Mapping)] オプションは、ソースクラスタをアップグレードするまで使用できません。

